



各 位

平成21年2月12日

会 社 名  日本タングステン株式会社  
 代表者名 取締役社長 吉 田 省 三  
 (コード番号6998 東証2部、福証)  
 問合せ先 総務人事部長 大島正信  
 (TEL092-415-5500)

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年10月29日の第2四半期決算発表時に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想値の修正について

## (1) 連結業績予想

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,850	370	470	300	12.12
今回発表予想(B)	10,350	345	290	1,275	51.52
増減額(B-A)	1,500	715	760	1,575	
増減率(%)	12.7				
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	13,120	960	914	616	24.71

## (2) 個別業績予想

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,150	270	350	200	8.08
今回発表予想(B)	9,800	395	335	1,295	52.33
増減額(B-A)	1,350	665	685	1,495	
増減率(%)	12.1				
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	12,422	814	733	428	17.18

## (3) 修正の理由

通期の見通しにつきましては、世界経済の景気後退により今後も需要の回復は期待できず、厳しい状況が当面続くものと思われまます。

現下の厳しい経営環境の中、当社におきましては、諸経費の削減や役員・基幹職員の報酬カット、一時休業の実施等による固定労務費の削減等にグループ体となって取り組んでおりますが、予想を大幅に上回る需要の減少により、連結売上高は前年比21.1%減の103億5千万円となる見

通しです。

損益面においても、急激な売上の減少や円高の進行等により、営業損益、経常損益とも、赤字決算となる見通しであります。

また、当期純損益は、棚卸資産評価損等約4億円を特別損失として計上するほか、将来の損益見通し及び財務の健全性から繰延税金資産約5億円を取り崩すこととし、大幅な赤字決算となる見通しであります。

このため、平成20年10月29日発表の通期業績予想を上記のとおり修正させていただきます。

## 2. 平成21年3月期 配当予想の修正について

### (1) 修正の内容

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成20年10月29日発表)		3.00		3.00	6.00
今回修正予想				0.00	3.00
当期実績		3.00			
前期(平成20年3月期)実績		3.50		3.50	7.00

### (2) 配当予想修正の理由

当社の配当基準は、株主の皆様への継続かつ安定的な配当を基本方針とし、単体の当期純利益の30%相当を目安に利益配分を行っております。

しかしながら、経営環境の急激な悪化に伴い、通期業績予想は大幅な赤字となる見通しであり、甚だ遺憾ながら、期末配当金を見送りさせていただきたく存じます。これにより、当期の配当金はすでに実施した中間配当による3円となる予定であります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上